



地球

第三卷第二號

大正十四年二月一日發行

主要目次

圖版 第六 ポートサイド エズ運河

刀劍の地理學的研究

米國の貿易に就て(上)

諏訪盆地の地質構造に關する知識

南部阿武隈山脈の地形考察

アラビヤ海を横りて

地理教材としての地形圖(七多摩川中流地方)

支那小説の地理

地球を構成する物質と其の分佈

雜誌

新刊紹介

質疑應答

田ノ口

理學博士 小川 治

文學士 田 禮 佐

文學士 本間 不二 男

文學士 望 月 勝 海

文學士 寺 田 貞 次

文學士 松 原 厚

文學士

文學士

文學士

文學士

文學士

文學士

文學士

文學士

京都帝國大學理學部

地質學教育室

地球學圖

第三卷 第三號 豫告

人文及人文地理學上より觀たる九州西北部……………理學博士 小川 琢 治

丹波田倉山火山……………上治 寅次郎

米國の貿易に就て(下)……………文學士 下 田 禮 佐

黑鑛々床と角稜質包裹……………理學士 木 下 龜 城

中世回教徒の地理學(カールシヨイ)……………

米國の亞細亞遠征の成績と今後の計劃(オスボーン)……………

地中海に浮ぶ……………文學士 寺 田 貞 次

談 叢

地理教材としての地形圖(八)平壤南方の准平原……………

談 叢

旅行家の寫真心得……………

講 話

地球を構成する物質と其の分布……………理學博士 松 原 厚

地球學團第二回講習會開催豫告

春閑なる四月の初め左のプログラムに従つて地方誌を主題とした第二回講習會を京都に開くことにした。學團員諸賢の御賛加を期待する。

開 期 大正十四年四月一日より同五日まで五日間。

開 場 京都帝國大學内。

講義題目及講師

歐洲戰爭の戰場地理

裏日本沿海地方の地理學的觀察

支那地理大觀

滿洲地誌概説

朝鮮の地理學的攻究

小 川 琢 治

小 牧 實 繁

藤 田 元 春

田 中 秀 作

中 村 新 太 郎

講義時間割

午前八時
—
十一時

四月一日(水) 小 川

四月二日(木) 中 村

四月三日(金) 藤 田

四月四日(土) 中 村

午前十時
—
正午

中 村

小 川

田 中

田 中

午後一時
—
三時

小 牧

小 牧

小 牧

藤 田

午後三時
—
四時

藤 田

藤 田

講義後上野製作所參觀

講義後島津製作所參觀

見學

次の二班に分れて見學する。何れの班につくかは會員の任意である。

四月五日(日)終日

第一班 東山……山科……稻荷方面 指導者 小川、小牧、其の他

第二班 向日町……山崎……八幡方面 指導者 中村、藤田、其の他

晚餐會

團員の懇親を計る爲め有志者の會合を四月二日の夕に催す。

講習會員定數 百 名

申込期限 三月十五日迄に地球學團に申込みこと。

會費其の他 會費金參圓、學團へ賛加申込と同時に學團へ御送金のこと。但し一旦納附の會費は缺席することも返附せず。猶見學の際の乗車船賃(一圓以内)を自辨すること。又晚餐會へ出席を希望せらるゝ方は會費の外に出金(約二圓)を要す。

宿泊所

宿泊御希望の方は前以て御通知あれば宿所を定め置く。一泊中食附約二圓。

講習會員資格

地球學團員に限る。此の際地球學團へ入團希望の方は「地球」購讀費半箇年分以上を地球の發行所である内外出版株式會社へ前納した上、地球學團へ宛て入團を申込みたい。其と同時に講習會費を添へて學團へ講習會賛加を申込みたい。

大正十四年二月

地球

第三卷
第二號

地球

第三卷 第二號 目次

圖版 第六 ポートサイドとスエズ運河

刀劍の地理學的研究……………理學博士 小川 琢治 (二五)

米國の貿易に就て(上)……………文學士 下田 禮佐 (二六)

諏訪盆地の地質構造に關する知識……………理學士 本間不二男 (二七)

南部阿武隈山脈の地形考察……………望月 勝海 (二八)

アラビア海を横りて(渡歐日記)……………文學士 寺田 貞次 (二九)

地理教材としての地形圖(七)多摩川中流地方……………(三五)

談叢

支那小説の地理……………如舟 老人 (二七)

講話

地球を構成する物質と其の分布(一)……………理學博士 松原 厚 (三〇二)

雜報

日本内地の大正十三年推計人口○横黒線の全通○本邦在留支那人の狀態○本邦農産物の總價額
○スエズ運河の掘下○印度の國勢調査○山東の牛○蒙古の牛○濠洲羊毛と本邦船○地理科本試
驗問題○山崎博士よりの來信○概況……………(二九二)

新刊紹介

人類學及人種學上より見たる北東亞細亞

朝鮮部落調査報告(第一册)

地理教材研究第五輯

質疑應答

山西省の自然地理○西印度諸島の成因○大環圖法の地圖上の距離

前號(海岸號)要目

圖版

- 第一、伊太利カロツタアツルラ(環玕洞)
- 第二、綠州メグサク及ライテンベンク海岸
- 第三、蘇格蘭、米國及鳥取縣の砂丘
- 第四、叢石亭及七ツ釜の玄武岩柱狀節理
- 第五、天橋立と松島

海岸に就いて.....	理學博士	小川 琢治
博多灣の海岸線.....	醫學博士	中山平次郎
史前時代以來上總東南海岸の昇降に就きて.....	理學博士	山崎直方
先志摩の海岸.....	理學士	辻村太郎
三浦半島の海岸に就きて.....	理學士	青木廉二郎
砂丘と植物.....	理學博士	郡 場 寬
海岸の動物.....	理學士	川村多實二
最近に於ける北陸海岸線の移動.....	文學士	小牧實繁
私の見た地中海の沿岸.....	文學博士	濱田青陵
日本海々岸に於ける砂丘上の遺跡.....		梅原末治
越前東尋坊.....	工學博士	比 企 忠
九州海岸の奇勝.....	理學士	石川成章
星ヶ浦命名の由來と滿洲地名考.....	理學士	木戸忠太郎

地球學團規約

- 第一條 本學團を地球學團といふ。
- 第二條 本學團は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- 第三條 事務所を京都市白川追分町京都帝國大學地質學教室内に置く、又會員が多い地方には支部を置く事がある。
- 第四條 本學團の事業は次の如くである。
 雜誌並に圖書の刊行
 講演並に講習會の開催
 實地見學の指導
- 第五條 本學團員は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納する事。
- 第六條 本學團員になりたい人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球購讀費半年分以上を、發行所へ送金する事。
- 第七條 學團を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知すること。

註文規定

- 團員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候
- 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- 振替貯金にて御送金は(振替大阪三二九五番三九三二番東京三九三二番)内外出版株式會社宛に願上候
- 前金切れの場合に帶封に前金切の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
- 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

價定

一冊	定價金五十錢	郵税金貳錢
六冊(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二冊(前金)	定價金六圓	郵税不申受

廣告料 一頁 金五拾圓 半頁は取扱不申

大正十四年一月廿五日印刷納本
 大正十四年二月一日發行

第三卷
 第二號

京都帝國大學理學部
 地質學教室内

編輯者 地球學團

右代表者 藤田元春

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 須磨勤兵衛

印刷所 内外出版株式會社印刷部

發行所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版株式會社

本社 京都市下京區西洞院通七條南
 出張所 京都市京橋區加賀町十番地
 販賣所 京都市神田區錦町一ノ十九

内外出版株式會社
 北隆館

所捌賣

(東) 東京堂
 (大) 大阪盛文館
 (神) 神戸共盛社
 (京) 京都共盛社
 (名古屋) 名古屋マガジン

東 東海堂
 至 誠社
 三 日文堂
 川 瀨日進堂
 大 瀨盛堂
 川 瀨書店

不複製
 禁轉載

CHIKYŪ-THE GLOBE

Vol. III. No. 2.

February, 1925.

Pl. VI. Suez Canal and Portsaid.

Geographical Consideration on Japanese Swords.....	
By T. Ogawa, <i>R. H.</i>	253
On Trade in America.....	
By R. Shimoda, <i>B. S.</i>	268
Geotectonics on the Suwa Basin	
By F. Homma, <i>R. S.</i>	275
Topography of the South Abukuma Plateau.....	
By S. Mochizuki	280
Across the Sea of Arabia.....	
By T. Terada, <i>B. S.</i>	289
Topographical Maps recommended for Schools (7).....	295
Geography in Chinese Fictions.....	
By T. Ogawa, <i>R. H.</i>	297
Materials of the Earth and their Distribution.....	
By A. Matsubara, <i>R. H.</i>	301

Gegographical Notes—New Books—Inquiries.

Chikyū Gakudan

Kyōto.